

# 令和6年度 御殿場市議会 総務委員会 行政視察報告書

## 1. 日程

令和6年11月7日（木）

## 2. 視察先及び視察事項

駿東郡長泉町 人口減少対策について

## 3. 参加者

委員長 勝間田 幹也

副委員長 林 義浩

委員 高木 理文 横山 大 菅沼 芳徳

中島 宏明 神野 義孝

当局 勝又 喜英（企画戦略部次長兼未来プロジェクト課長）

事務局 中嶋 正樹（議会事務局長）

桐生 守（議事課主幹）

## 4. 視察先対応者

企画財政課 課長 浅倉 様

企画財政課 副主幹 長澤 様

## 5. 視察の内容

### ■人口減少対策について

日時：令和6年11月7日（木） 午前9時15分～午前11時15分

場所：長泉町役場

視察の目的

人口戦略会議において、県内で唯一「自立持続可能性都市」に選ばれ、近隣の人口が減少していないまちの施策を本市施策の参考とする。

視察先の概要

伊豆半島の基部に位置し、三島市、沼津市、裾野市と隣接。

JR東海道新幹線三島駅や新東名高速道路長泉沼津インターチェンジに近接し、各種企業の立地が相次ぎ、現在では、県立がんセンターを中核とした先端健康産業の集積を目指す「ファルマバレープロジェクト」と連動し、医薬・健康関連企業の誘致を進めている。

人口：43,513人 議員定数：16人【R6.4.1時点】

令和6年度一般会計当初予算額：171億円

視察の内容

長泉町の「概要・指標」「強み」「客観的な評価」「特徴的な取り組み」「移住・定住施策」などについて企画財政課より資料に基づいて詳細な説明を受けた。

・総合戦略の各種施策については

- ① 安定した雇用を創出する
- ② 新しい人の流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 快適で安心な暮らしをつくる

4つの基本目標をもって施策の展開をしていた。

・子育て支援策、移住・定住施策等については

- ① 小中学校のエアコン設置
- ② 子ども医療費の無料化
- ③ 保育料の無料化
- ④ 未来人定住応援奨励金事業
- ⑤ 新幹線通学支援補助事業
- ⑥ 妊産婦応援タクシー利用助成事業
- ⑦ こども商品券交付事業

など多くの事業展開がされている。

・マイナカード活用タクシー利用助成事業については  
利用者・事業者ともに紙の利用券より負担が軽減され、高齢者の移動手段の確保につながっている。

これらの内容についての研修を受けた。

## 考察

長泉町の地理的条件の強みは人口の増えるまちの大きな背景になっている。静岡がんセンターの開院が大きなターニングポイントであり、労働環境（働く場所）の優位性や新幹線三島駅が近く、通勤・通学の利便性は、本市とは比較にならない強みである。

また、人口増加率は2.4%増加と県内1位。高齢化率は22.5%と県内で最も低く、人口戦略会議の報告書で県内唯一の「自立持続可能性都市」に選出されたまちである。

特筆する事業としては、新幹線通学支援補助対象者には、地域住民とのつながりを深め、更にはスキルアップを目的とした「長泉未来人ウィプロ事業」を行っており、長泉町の課題や解決策など、ワークショップ形式での話し合いの場を作ることやイベントの開催など、今後を担う未来人が行政課題の解決や施策へ活かすことが期待できる事業となっている。単に新幹線通学支援補助金として通学費を助成するのみではなく、町の事業に関わることで「長泉町に住み続けたい！長泉町で働きたい！」と参画意識を醸成し、移住・定住につなげていることは大変に参考になった。

本市においても「御殿場100人ミライ会議」を通し、人とのつながりを活かしたまちの賑わいづくりを進めているが、長泉町の取り組みも参考にこの地に住んで良かったと思えるまちになるような施策展開を考えていきたい。

未来人 ×



出展：長泉町ホームページ

